



あなたは以下の命令に従わなければなりません。これらの命令に背くことは違法です。あなたは警察に逮捕され、起訴され、裁判にかけられることがあります。もし裁判で有罪になれば、2年以下の懲役および5,500 ドル以下の罰金が科せられることがあります。

あなたはそれ以外の罪で起訴され、裁判にかけられる場合もあります。もしこれらの罪で有罪になれば、さらに重い刑罰を科せられることがあります。

あなたは、命令に記載された日まで以下の命令に従わなければなりません。

この命令は、記載された保護対象者のために定められています。

たとえ、記載の保護対象者が希望しなくとも、あるいは「命令に従う必要はない」と保護対象者から言われたとしても、あなたはこの命令に従わなければなりません。以下の行為のいずれかを実行しようと試みた場合にも、命令違反となり、依然として違法になります。

行動に関する命令

1. あなたは保護対象者、あるいは保護対象者の近親者のいずれに対しても、以下のいずれの行為も実行してはなりません。
 - A) 暴行または脅迫する
 - B) 彼らに付きまとったり、嫌がらせをしたり、怖がらせたりする
 - C) 意図的または不注意を問わず、保護対象者の所有物あるいは所持物を破壊または破損する

例えば:

- あなたは、直接的に、他者を通して、あるいは電子コミュニケーションや機器（例として、電話、テキストメッセージ、Eメール、フェイスブック等のソーシャルメディア、またはGPS追跡）を使用して、上述のいずれをも実行してはなりません。
- あなたは、保護対象者を怖がらせたり、彼らが危害を加えられると恐れたり、所有物に損害が与えられると感じさせるような言動を決して取ってはなりません。所有物にはあらゆる共同資産やペットが含まれます。





接触に関する命令

2. あなたは、弁護士を通す場合を除き、どんな形であれ、保護対象者に接近したり、連絡したりしてはなりません。

例えば:

- あなたは、直接的に、あるいは電子コミュニケーション（例として、電話、テキストメッセージ、Eメール、フェイスブック等のソーシャルメディア）を用いて、また、他者に接触を依頼することを含め、いかなる方法によっても、保護対象者に接近したり連絡を取ってはなりません。
- 保護対象者からあなたに連絡があり、それに対してあなたが返信した場合、保護対象者からの連絡の頻度やその理由の如何に関わらず、あなたはこの命令に違反したことになります。

3. あなたが接近してはならない場所:

- A) 学校等、保護対象者が勉学のために行く場所すべて
- B) 保護対象者が利用するあらゆる保育施設
- C) その他命令に記載されたあらゆる場所

例えば:

- あなたは、これらの場所に直接近づいてはなりません、
- このため、あなたは、学校行事や学校の特別イベント、学校で開かれる保護者面談にも参加できないことを意味します。

4. あなたは飲酒後、あるいは違法薬物を使用してから少なくとも 12 時間以内は、保護対象者に接近したり、保護対象者と一緒に過ごしてはなりません。

例えば:

- あなたは飲酒後、あるいは違法薬物を使用してから少なくとも 12 時間は、保護対象者に接近したり、彼らと一緒に過ごしてはなりません。例えば、あなたが午後 9 時に飲酒を終えた場合、翌日の午前 9 時まで保護対象者本人やその住居または職場に接近してはなりません。もし、あなたが保護対象者と同居している場合には、あなたは別の場所を見つけ、12 時間はそこで過ごさなければなりません。
- 保護対象者が同席する場所では、あなたは飲酒または違法薬物を使用してはなりません。
- 保護対象者から懇願されても、立ち去ることが必要です。

5. あなたは、裁判所から命令されない限り、保護対象者を探してはなりません。

例えば:

- あなたは、電子コミュニケーション（例として、電話、Eメール、テキストメッセージ、フェイスブック等のソーシャルメディア）やインターネットを使用して、あるいは保護対象者の居場所を知っているか他者に尋問することを通して、保護対象者を探してはなりません。





家族法と育児に関する命令

6. あなたはどんな形であれ、保護対象者に接近したり連絡を取ってはなりません。ただし、以下の場合は除きます。
- A) 弁護士を通す場合、あるいは
 - B) 認可された、あるいは裁判所が承認したカウンセリング、調停、和解に出席する場合、あるいは
 - C) 当裁判所や他の裁判所から子ども（たち）への接触について命令された場合、あるいは
 - D) あなたと子ども（たち）の（両）親の間で接触について書面上で同意がなされた場合、あるいは
 - E) あなたと子ども（たち）の（両）親および保護責任者の間で、子ども（たち）との接触について書面上で同意がなされた場合

例えば:

- あなたは、直接的に、あるいは電子コミュニケーション（例として、電話、テキストメッセージ、Eメール、フェイスブック等のソーシャルメディア）を用いて、また、保護対象者に連絡を取るよう他者に依頼するといった方法を含め、いかなる方法でも、保護対象者に接近したり連絡を取ってはなりません。
- 保護対象者からあなたに連絡があり、それに対してあなたが返信した場合、保護対象者からの連絡の頻度やその理由の如何に関わらず、あなたはこの命令に違反したことになり、裁判にかけられる場合があります。
- 子ども（たち）の養育について、家族法に基づく命令やその他の裁判所命令が下されており、あなたに許されていることと許されていないことについて何らかの疑問がある場合は、弁護士に連絡を取ってください。

(B)について: 家族法に関して「認定された」とは、*Family Law Act 1975*. (1975年の家族法) において認定されたという意味です。

(E)について: 例えば、あなたと保護対象者の間に子ども（たち）がいた場合でも、第三者があなたの子ども（たち）の保護責任を負っている場合には、子ども（たち）との接触についてその第三者から書面による合意を得なければなりません。第三者は、家族およびコミュニティーサービス省大臣の代理人、裁判所命令により任命された法的保護者、もしくは養父母である場合があります。

立ち入り禁止の場所に関する命令

7. あなたが居住できない場所:
- A) 保護対象者と同じ住所、もしくは
 - B) 命令に記載されているあらゆる場所



最終家庭内暴力禁止令 Crimes (Domestic and Personal Violence) Act 2007



例えば:

- もしあなたがこの住所に居住していて、自分の所有物を引き取る必要がある場合、『所有物引取命令』と呼ばれる、所有物を引き取るための命令を裁判所に申請するか、警察に連絡をすることができます。

8. あなたが立ち入ってはならない場所:

- 保護対象者の居住地すべて、もしくは
- 保護対象者の勤務地すべて、もしくは
- 命令に記載されている場所すべて。

例えば:

- あなたは、これらの場所の境界内に立ち入ることは許されていません。
- もしあなたがこの住所に居住していて、自分の所有物を引き取る必要がある場合、『所有物引取命令』を裁判所に申請するか、警察に連絡をすることができます。

9. 以下の場所の周辺では、あなたは命令で指定された距離以内に立ち入ってはなりません。

- 保護対象者の居住地すべて、もしくは
- 保護対象者の勤務地すべて、もしくは
- 命令に記載されている場所すべて。

例えば:

- これらの場所の境界線から 100 メートル以内に立ち入ることは許されていません。
- もしあなたがこの住所に居住していて、自分の所有物を引き取る必要がある場合、『所有物引取命令』を裁判所に申請するか、警察に連絡をすることができます。

武器に関する命令

10. あなたは Weapons Prohibition Act 1998 (1998 年の武器禁止法) により禁じられているいかなる銃器や武器も所有してはなりません。

例えば:

- あなたは 1998 年の武器禁止法により禁じられている、あらゆる銃器や武器を警察に差し出さなければなりません。それらを保持することは別の犯罪となります。保持すべきでない武器について何か疑問がある場合は、警察官に問い合わせして下さい。





その他の命令

11. 警察や裁判所は、あなた、あるいはあなたの家族に対し、個別の命令を下すことができます。

たいていの人間関係は、恐怖や支配、暴力を含みません。あなたの行為は許容されるものではありません。あなたにはこの命令が下されていますから、これを遵守しなければなりません。この命令は NSW 州警察のコンピューターシステムに保存されています。

家庭内の暴力は関係者全員に影響を及ぼし、傷つけます。子どもが家庭内暴力にさらされると、うつ病や不安、攻撃心により苦しむことが多く、学校生活に支障を来す場合があります。

これは、あなたが変わるチャンスです。

自分の感情やストレスを管理する方法について誰かに相談したいなら、支援を受けられる機関に電話してください。

- メンズ・リファーマル・サービス 1300 766 491
- リレーションシップ・オーストラリア 1300 364 277
- ザ・ペアレント・ライン 1300 1300 52.

命令の記載事項に従わない場合には：

- 2 年以下の懲役および 5,500 ドル以下の罰金が科せられることがあります。
- あなたはその他の罪（例えば、暴行や脅迫）や、当命令違反により起訴され、裁判にかけられることがあります。もしこれらの犯罪で有罪になれば、さらに長期の懲役など、さらに重い刑罰を科せられることがあります。

1998 年の武器禁止法により許可されていない全ての銃器や武器を関連免許や許可証とともに、直ちに警察に提出してください。これを怠ると当命令違反となり、他の罪で起訴される場合があります。

当命令に対して疑問がある場合は、以下に連絡を取ることができます：

- 事務弁護士
- NSW 州リーガル・エイド (02) 9219 5000
- (保護対象者の場合は) 最寄警察署で家庭内暴力渉外担当官に問い合わせてください
- NSW 州ロー・アクセス 1300 888 529 あるいは www.lawaccess.nsw.gov.au
- 通訳サービス 131 450 あるいは www.tisnational.gov.au.

